

「2007年度(2007年4月1日～2008年3月31日)ANAグループ航空輸送事業計画」概要

国内線旅客事業

前期比:座席キロ*100%・運航回数100%

より需要に見合う
路線ネットワークへの再編

接続による利便性向上

商品・サービス競争力の強化・
個人型運賃の充実

関西・神戸、両空港発着便を再編

関西、神戸、伊丹の関西3空港発着路線ネットワークを再編し、より有機的な活用を進める。

増便路線

【4/1～】 関西～新千歳、関西～高知、関西～福岡
神戸～羽田、神戸～沖縄

【6/19～】 神戸～新千歳

休止路線

【4/1～】 関西～宮崎、神戸～鹿児島

【6/19～】 神戸～新潟

基幹空港での接続ダイヤの改善を図り
一部ローカル路線の見直し

増便路線

【4/1～】 沖縄～石垣

【5/1～】 中部～新千歳

休止路線

【4/1～】 新千歳～女満別

【7/1～】 仙台～函館、大分～沖縄

個人型運賃『旅割』『超割』等の充実

『SKIPサービス』の拡大や『ANA@desk』の契約拡大、『スーパーシートプレミアム』の定着など
商品力の強化

空港カウンターでのチェックイン不要の搭乗サービス
『SKIPサービス』の拡大。オフィスのパソコンで予約から
精算まで行える法人向け出張システム『ANA@desk』
の契約拡大等を進める。

国際線旅客事業

前期比:座席キロ*109%・運航回数119%

中国・アジア路線のさらなる拡充

ビジネス需要をターゲットにした事業展開

アライアンスネットワーク活用

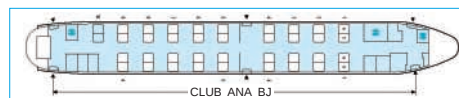
全席ビジネスクラス“ANA Business Jet”による成田～ムンバイ線開設



【9/1～】インド ムンバイ(ボンベイ)へ全席ビジネスクラス(全36席)の最新鋭機ボーイング737-700ER型機にて開設

ゆったりとした空間で、欧米線並のシートピッチを確保。シートも高級感のあるレザー仕様で、全席にパソコン用電源を装備。大型まくら等の専用の機内用品、実用性の高い専用アメニティサービスをご用意!

CLUB ANA BJの仕様	
座席数	36席
シートピッチ	61インチ
シート幅	20.6インチ



成田～広州線は毎日2便化と一部路線へ小型機 エアバスA320型機 の投入

【5/1～】 成田～広州 毎日1便から毎日2便へ

【5/1～】 中部～上海 【6/1～】 成田～廈門

就航機材をボーイング767-300ER型からエアバスA320-200型へ変更

成田～ロンドン線、成田～サンフランシスコ線にボーイング777-300ERを投入

【5/24～】 成田～ロンドン

就航機材をボーイング747-400型からボーイング777-300ER型へ変更

【6/1～】 成田～サンフランシスコ

就航機材をボーイング777-200ER型からボーイング777-300ER型へ変更

スターアライアンス各社(ユナイテッド航空、ルフトハンザ航空、アジアナ航空等)との連携強化

*座席キロ(座席数)×(運航キロメートル)

貨物事業

フレーター生産量 前期比:供給量109%・運航回数109%

貨物基本ネットワークの確立

中国・アジアを中心とした路線再編

ABX社を活用したACMIによりボーイング767-200SF型機2機導入

2007年サマーダイヤ期間(2007年3月25日～10月27日)より、ABX Air社からフレーターの機体をリースし、同社に運航、整備業務全般を委託する運航を開始。自社による運航を補充。

1: Air Crew Maintenance Insuranceの略。航空機を運航乗務員付でリースするウェットリースの形態に加え、整備や運航管理等運航に関わる業務をすべてリース元に委託する運航形態。

2: 米国の宅配会社の一社であったAirborne Express社の航空部門を前身としており、米国を中心にDHL社などのウェットリースを幅広く展開している航空会社。ANAからはボーイング767-200型機を24機購入しており、この一部を貨物専用機に改修して使用。

中国・アジア主要路線を増便

・上海、大連、ソウル、香港、台北、バンコクを結ぶ各路線を火、水、木、金、土曜日は毎日運航『ウィークデイトリー化』

・関西～北京線を新規開設(週4便・水、木、金、土曜日運航)、中国華北地区へネットワーク拡大

機材計画

導入計画	機数
ボーイング777-300ER	4
エアバスA320-200	4
ボーイング737-700	7
合計機数	15

退役計画	機数
ボーイング747-400	2
ボーイング767-300ER	1
エアバスA321-100	2
エアバスA320-200	2
合計機数	7